

むさし野

No.28

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方
電話 049-225-2466
E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp
ホームページ: <http://www.longview.jp/musashino/>

2007年度定期総会に出席して—清水靖夫会長との出会い

宇佐美善夫（朝霞市）

2007年6月23日(土)さいたま市民会館「うらわ」505号室で第1部総会が13時30分から、全員15名出席のもと行われた。第2部は、14時20分から法政大学地理学会会長・清水靖夫氏による「地図から地域の歴史を読んでみる」の記念講演が行われた。



法政大学法学部卒業後、20数年振りに法政大学通信教育文学部地理学科3年に編入学した。測量関係の仕事に従事していた関係で勉強して、測量士の資格を取得したい希望があった。法政大学で清水先生の夜の地図学の授業に初めて出席する。7月に行われた夏季スクーリングの巡検の1泊2日間の清水先生担当で学友20数名と参加した。

飯田橋法政大学前に集合する。バスに乗り筑波学園国土地理院研究所に到着し、地理関係のものを見学した。今後の勉強に参考とする。潮来に宿泊して、夕食後の懇親会では、先生と学生との楽しい思い出の夜となる。翌日は、千葉佐倉に行き、日本全国を初めて測量して地図を作成した。「伊能忠敬」の生家と資料館を見学後、現地解散した。

巡検で人間性のふれあいがあり、良き経験が生まれた。卒業後は、地理学会に入り評議員の任を受けて、今日まで続いている。



清水氏の講演

この日の講演者の清水先生は、30年間に渡り、通教で地理学特講地図を担任され、また学部では教職課程地理学関係専門の地図学を担任された経験から埼玉地域の明治から現在の地図を比較して詳細に説明されて、現在埼玉地区には活断層は存在しないと結論づける。日常生活に密着した講演で安堵のため息がもれる。講演後も多くの方からの質問があった。第1部・第2部も無事に終り、有志による懇親会は盛り上がり時のたつのを忘れて続く。来年度の出席を合い言葉に散会した。

第4回総会をさいたま市民会館で開催

法政むさし野会の2007(平成19)年度定期総会が、6月23日(土) 13時40分から17時10分まで、さいたま市民会館「うらわ」において開催された。当日は梅雨の中休み、気温が30度を超す真夏日でしたが、会員15名が出席された。(司会：矢田幹事)

第1部・総会は、開会の辞(烏海幹事)、会長挨拶、議長選出(石井会長)の後、議案の審議に入り、第1号議案「06年度活動報告について」(筑井副会長)、第2号議案「06年度収支決算及び会計監査報告について」(大川幹事・鹿野会計監査)、第3号議案「07年度活動方針について」(筑井副会長)、第4号議案「07年度予算について」(大川幹事)の各議案について報告と説明があり、いずれも原案どおり満場一致で可決・承認された。

その他の議題はなく、筑井副会長の閉会の辞をもって議事を終了した。

第2部・講演会は、法政大学地理学会会長・清水靖夫先生をお招きして『地図から地域の歴史を読んでみる』と題して1時間、お話をお聴きした。(司会：宇佐美幹事、1頁受講記参照)

第3部・茶話会は、清水先生にもご出席いただき、遅れて参加の会員1名も加わって、総会に先立ち行われた役員会の報告(秋に実施する歴史文化施設見学会候補地・日程等)について意見交換を行い、「武蔵嵐山・菅谷遺跡見学会」を11月17日(土)に実施することを決定した他、出展者からそれぞれ展示品について説明を受けるなど、懇談した。(4頁開催案内参照)

なお、今回の出展者は、・烏海美智子：俳句同人誌『紫』4月号 ・尾辻紀子：著書『幕末外国奉行 田辺太一』(新人物往来社) ・榊原洋子：絵画(水彩画) 3点&作品写真集1冊 ・内田吉久：群馬県庶民教育(寺子屋)調査報告書1部&旧寺小屋建物(内田栄七家住宅)写真1枚 ・吉田登美子：「万葉かな書」巻子1巻(枕草子の一部) ・石井満：旅行記『シルクロード8日間の旅(07.5.4~5.11)』の6氏でした。(順不同)

総会終了後、さらに番外の第4部として、有志で2次会を行い懇親を深めた。(矢田記)

総会に寄せられた会員の声 (順位不同 敬称略)

○去る2月17日深谷勉強会での「煮ボウトウ」を3食分求めて試食を家でいたしました。それと同じ品物を後日26食分求めまして秋田のお土産に近所に配りましたら秋田の方々大変好評でした。 飯田桂子(東京・小平市)

○思いがけず五十肩とやらになってしまい。生まれて初めて肩こり(?)痛みの経験をしています。何でもプラス思考ですが、やはり痛みには弱いですね。はて、年内に長年の夢であった日本語教師としてアジアの国々へ飛び立てるか。内臓は丈夫ですからリハビリに励みます。大陸への憧憬はやはり強いです。皆様お元気です。 影山五月(所沢市)

○真面目で個性的な「むさし野会」の総会の成功を祈念いたします。葛西利武(東京都)

○神宮球場観戦、大変お世話になりました。 横井時弘(東京都)

○新緑の眩しい季節になりました。皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。定期総会のご案内を頂きましたが、水墨画教室(杉戸町南公民館)の作品展と陶芸教室及びクラブ(板倉町東公民館)の作品展が6/22~6/24に開催されることになりました。残念ですが総会は欠席とさせていただきます。皆様のご健康をお祈り申し上げます。 下鳥キヨ子(群馬県)

○誠に申し訳ございませんが、当日は先代の法事の日なので欠席させていただきます。名前だけの会員にて申し訳なく思っております。皆様に宜しくお伝えください。 織田澤すみれ(群馬県)

○先日は総会のご案内を戴きありがとうございました。2月の深谷探訪の集い以来ですので懐かしい皆様と再会を楽しみにしておりましたのですが、残念ながら地元でお引き受けしている仕事の関係で23日は、総会には出席できなくなりました。申し訳ございませんが、皆様に宜しくお伝え下さい。ご盛会をお祈りしております。 青木美枝(深谷市)

○「幕末外国奉行 田辺太一」を2006年8月に出版しました。新人物往来者発行「黒船の来航によって鎖国から開国へ急転回する幕末日本。多難な幕末維新の外交を担った外国奉行田辺太一と開国日本の軌跡を追う」 尾辻紀子（川口市）

○退院後、治療を続けていますが、加齢のためか復調には日数が必要です。時々パソコンに向かって故郷の江戸時代の水害の資料を整理しています。 内田吉久（さいたま市）

○07定期総会の件ですが、あいにく仕事の残業が結構残ってしまい。毎日残業しても終わらない状況で、土・日出勤しないと終らなく焦っている毎日ですが、あっという間に3ヶ月が過ぎようとしています。定期総会で皆さんに合えるのを楽しみにしていたんですが、茶話会には間に合うように会場に着くようにしたいと思いますが、最悪でも二次会だけでも出席したいので宜しくお願いします。 菅井肇（さいたま市）

○法早戦は残念な結果でした。大学野球、神宮球場初観戦。応援団エールの交歓にも力のあることではあります。年だけは重なり（社会的？）引退が脳裏を横切る日々ではあります。積んでおいた書物を開いて眺めてはいますが... 天野公男（毛呂山町）

○お仲間に加えていただけて嬉しく感謝しております。現在は家庭の事情で行事に参加できず、残念に思っておりますが。希望を持ってお目にかかれる日が来るようにと祈っております。会のご盛会と会員の絆がますます強くなりますようにと念じております。 武居仁子（高崎市）

○相変わらずの生活。アルバイト、畑、カラオケ、指圧クラブなど。多忙な毎日を送っています。土曜日は仕事があり出席できません。 渡部佐知雄（鳩山町）

○いつも欠席で申し訳ありません。スケジュール合えば出席したいと思っております。会費遅くなりましたが振り込みますので宜しくお願いします。 大和田武（さいたま市）

○総会に出席したいところですが、仕事（小売業）のため土・日が中々休めません。要望としては法政も通信教育の大学院を設けていただくと勉強しやすくなると思います。定年（60歳）になったら、又、大学で勉強したい気分です。 押切次夫（草加市）

○お世話になります。旅行を予定しておりますので欠席させていただきます。 鮫島隆一（川越市）

○70、80ともなれば、固有名詞が咄嗟に出てこないのは常のこと。とは言うものの、人の名を不意に忘れる寂しさを感じずの昨今です。まもなく72才。元気で会のお手伝いが出来るよう願っています。 矢田義徳（朝霞市）

○春季六大学野球 法一早戦を観戦。13-2で敗れる。応援むなしく。余りにも法政だらしなさに憤慨する。懇親会楽しく思い出になる。 宇佐美善夫（朝霞市）

（恩師より）「むさし野NO27号」有難うございました。6月23日総会講演の清水靖夫先生は存じ上げており、喜ばしい事です。18～21日、台湾台中市静宜大学における「学術研究会」に参加の途、霧社を訪れました。昭和5年原住民が蜂起、日本人134人が殺害された事件の発生地です。 安岡 昭男 名誉教授

東京六大学野球に魅せられて半世紀 大野正雄（川口市）

日本最古の野球のリーグ戦である東京六大学野球は、大正14年秋に発足した。東京六大学野球を見続けて、半世紀が過ぎた。来し方を振り返り、いまの想いを述べたい。



- ・ 1東京六大学野球を初めて観たのは、昭和30年。後のミスターベースボール、長嶋茂雄が立教大学の2年で、私の兄が立教で長島の一級下、そんなこともあり、立教の学生席で、カッセ、カッセ、長島と応戦しながらの観戦であった。
- ・ 当時は東京六大学野球の黄金時代で、プロ野球よりも人気があり、観客もプロより多かった。又、実力でもプロとは大差が無く、六大学からプロへ入団した選手は、一年目から、

第14回勉強会「菅谷館跡と安岡正篤記念館を訪ねる」

もう秋になってしまいました。少し普段とは違った秋の一日をご一緒しませんか？
武蔵嵐山にある菅谷館跡（国指定史跡）は埼玉県のやや北部に位置しますが、南北朝・鎌倉時代にかけては鎌倉街道の要所であり、武蔵国の中心的役割を担っていた事が、大城址を見ると直ぐに想像できます。碩学 安岡正篤（マサヒロ）先生につきましては同記念館も訪れますが、国立女性教育会館にて特別講師（約1時間の講演）をお願いしました。

日 時：11月17日（土）11時30分

集合場所：国立女性教育会館ロビー

東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩15分

会 費：2000円（昼食代を含む）

申し込み：石井まで TEL 049-225-2466

（注：歩ける格好でおいで下さい。また、歩くことが苦手な方でも城址内自由散策できます。参加申し込みの方には後日コース表を郵送いたします。また、コースの詳細はホームページ <http://www.longview.jp/musashino/> に掲載）



皆、各球団の中心選手として活躍した。長嶋茂雄の人気は凄まじく、昭和32年頃、一年以上に渡り、あらゆる週刊誌等が特集記事を組んで報道した。

- ・ 長嶋が昭和33年に巨人に入り、六大学の客の多くがプロに移ってしまった。この年に、私が法政大学に入学。母校応援のスタートになった。昭和35年春のリーグ戦で優勝。関根潤三の活躍で優勝した昭和23年以来で、実に23シーズン振りの優勝であった。神楽坂で勝利の美酒に酔いしれた。
- ・ 昭和40年代は、山本浩司（後に浩二と改名）、田淵幸一といった後にプロ野球で大活躍する選手を擁して、法政の優位な時代であったが、その頃から東京六大学よりも東都大学リーグの方が実力で勝り、人気の六大学、実力の東都と云われるようになり、残念ながら、これは現在も続いている。そんな状況で観客も減少傾向。
- ・ 昭和49年、時代の寵児、江川卓が法政に入学。観客も回復した。
- ・ 江川卒業後は人気低迷が続いている。これには、野球の応援以外にも大学生の楽しみが、増えたことや、大学に入る目的が就職等の将来的なこととなり、母校愛が希薄になっているという学生気質にもよるであろうか。
- ・ 過日の平成19年4月29日、東京六大学春のリーグ戦を法政むさし野会有志と観戦。昨年の甲子園優勝投手、早稲田の斉藤祐樹（ハンカチ王子）のフィーバーで東京六大学野球の人气が復活。是非、昔のような、人気の東京六大学、実力の東京六大学になって、永遠に日本の大学野球に君臨して欲しい。最後に、法政大学野球部の実績を記す。

全日本大学野球選手権、優勝7回（最多優勝）／東京六大学野球リーグ戦、優勝42回（最多優勝）／（ついでに記せば）プロ野球選手最多輩出校

<報告>

○住所変更

原 小夜子 〒336-0926 さいたま市緑区東浦和1-13-12-302
TEL 048-875-5878

○退会 渡辺 英敏

◆あとかぎ◆

春の東京六大学野球は法政が負けたとはいえ、実に楽しい観戦でした。熱気ある学生達の応援に参加して久しぶりに青春を味わいました。▽台風9号は思わぬ海のゴミを私たちに見せ付けました。私たちの生きた証として残るのは海を覆いつくすプラスチックと電波の残響だけという怖い話があります。（烏海）